

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	1. 保健医療
----	---------------------	------	---------

事業名： あばしり健康マイレージ事業 担当部署： 戸籍保険課 医療保険係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	953	943				242	701
目的	対象		意図				
	30歳以上（令和6年3月31日現在）の市民		医療費の削減を図るため、自ら主体的に健康づくりに取り組む意識を醸成します。				
内取組	健康診断、各種がん検診、人間ドック・脳ドック及び市が実施する健康づくり事業等に参加した方に対しポイントを付与し、一定のポイントに達した方に賞品を贈呈します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成者数：267名（国保105名、後期118名、社保等44名）</li> <li>賞品内容：野菜クーポン券（3千円分）、総合体育館利用券（18回分）、市民プール利用券（6回分）のいずれかに交換</li> </ul>						
方今向後性の	特定健康診査の受診率向上と健康事業への参加を促し、市民が主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成します。						

事業名： 産婦健康診査事業 担当部署： 健康推進課 健康推進係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	1,675	1,383	878	113			392
目的	対象		意図				
	産後8週間未満の産婦		産後間もない母親の身体と精神状態を把握し、必要に応じて支援することで産後うつや新生児への虐待の予防を図ります。				
内取組	産後2週間及び産後1カ月の産婦健康診査費用を助成します。（上限5千円）						
実績	受診者数 ①産後2週間健診：138名 ②産後1カ月健診：138名						
方今向後性の	引き続き健診費用を助成し、産後うつなどの予防を図ります。						

事業名： 麻疹・風しん予防接種事業 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	7,655	4,943	851				4,092
目的	対象		意図				
	市民		麻疹・風しんの発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に努めます。				
内取組	乳幼児に麻疹・風しんワクチンを接種するとともに、妊娠を希望する女性及びその配偶者、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しん抗体検査を実施し、必要に応じて風しんワクチンを接種します。						
実績	①乳幼児麻疹・風しん接種人数：延べ366名（実人数：乳児 168名、幼児 198名） ②妊娠を希望する女性及びその配偶者の風しん抗体検査人数：18名、接種人数17名 ③昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の風しん抗体検査人数：49名、接種人数：10名						
方今向後性の	引き続き、麻疹・風しんの発生及びまん延を防止するため、ワクチン接種費用を助成します。						

事業名： 带状疱疹予防接種助成事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	4,937	4,878					4,878
目的	対象		意 図				
	50歳以上の市民		ワクチン接種により、顔面神経麻痺や脳炎、治療後も痛みが残る带状疱疹後神経痛等の発症による合併症状を予防します。				
内取 容組	50歳以上の市民を対象に、ワクチン接種費用の1/2相当額を助成します。						
実績	①水痘ワクチン 74名 ②带状疱疹ワクチン 236名						
方今 向後 性の	引き続き、带状疱疹の発症による合併症状を予防するため、ワクチン接種費用を助成します。						

事業名： 看護師・薬剤師確保対策支援事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	13,388	9,880				1,260	8,620
目的	対象		意 図				
	市民（修学資金貸与事業を実施している市内医療機関）		持続可能な地域医療体制を確保します。				
内取 容組	独自に修学資金貸与事業（卒業後に貸与を受けた医療機関に一定期間以上従事した場合、貸与金の返済が免除されるもの）を行う医療機関に対し、貸与額の増額分を助成します。						
実績	・被貸与者：43名（看護学生43名（うち助産師1名、保健師1名）） ・対象医療機関：2医療機関						
方今 向後 性の	引き続き、制度を活用していない医療機関に対しても活用を促し、安定的な看護師・薬剤師の確保を図ります。						

事業名： 開業医誘致推進事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	50,100	0					
目的	対象		意 図				
	市内に医療機関を開業する予定の医師		市民が住み慣れた所で安定した医療が受けられるよう、市内に新たに診療所を開設する開業医の方に開設費用を助成し、地域の医療体制の充実を図ります。				
内取 容組	市内に新たに診療所を開設する開業医の方に、開設に係る費用を最大で5千万円助成します。						
実績	令和5年度 開業実績なし (令和2～4年度でクリニック4院が開業)						
方今 向後 性の	引き続き、本制度の周知・活用により、地域医療体制の充実を図ります。						

事業名： 移動型医療サービス推進事業 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	48,515	48,500	23,250				25,250
目的	対象		意 図				
	市民	オンライン診療が可能なヘルスケアモビリティ（医療機器搭載・看護師乗車）を運行し、通院困難患者や医師の負担軽減を図ります。					
内取組	医療機器等を搭載した車両を導入し、訪問型のオンライン診療を行います。						
実績	令和5年度より実証運行を開始。網走厚生病院の協力のもと12件の診療を実施						
方今 向後 性の	引き続き、参画医療機関の拡大や専用車両の多角的な活用、斜網地域での広域運用に向けた協議を進めます。						

事業名： 斜網地域周産期医療支援事業 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	22,200	22,200				22,200	
目的	対象		意 図				
	市民	安心して出産・子育てができるよう、周産期医療体制を確保します。					
内取組	北海道厚生農業協同組合連合会が行う北海道大学病院と連携した医師確保対策に対し、斜網地域1市4町（網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町）で支援します。						
実績	北海道厚生農業協同組合連合会の医師確保対策に対する補助						
方今 向後 性の	引き続き、斜網地域1市4町で地域内の周産期医療体制の確保に取り組みます。						

事業名： 網走厚生病院脳神経外科運営支援事業 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	36,189	36,188				36,188	
目的	対象		意 図				
	市民	急性期脳血管疾患に迅速に対応できるように、脳神経外科の診療体制を確保します。					
内取組	網走厚生病院が設置する脳神経外科の運営を、斜網地域1市4町（網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町）で支援します。						
実績	補助金額：36,188千円（支援額全体の62.3%）						
方今 向後 性の	引き続き、急性期脳血管疾患に対応できる医療体制を維持します。						

事業名： 網走厚生病院小児医療等運営補助金 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)			
			国支出金	道支出金	地方債	その他
R5	48,000	48,000				48,000
目的	対象		意 図			
	市民	安心して生活できるよう、将来にわたり持続可能な小児医療体制の確保を図ります。				
内取 容組	網走厚生病院が設置する小児病床、結核病床、感染症病床及び周産期医療（準NICU）運営に対して支援します。					
実績	小児病床、結核病床、感染症病床及び周産期医療（準NICU）運営に対する補助					
方今 向後 性の	引き続き、地域内小児医療体制の確保に取り組みます。					

事業名： 救急医療体制づくり事業 担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)			
			国支出金	道支出金	地方債	その他
R5	69,113	67,997				67,997
目的	対象		意 図			
	市民	安心して生活できるよう、将来にわたり持続可能な救急医療体制の確保を図ります。				
内取 容組	休日・夜間当番医制の適切な運用と、市民に対する救急医療知識の普及啓発活動を行います。大学病院等から医師を確保し、休日の内科系一次救急を担う休日内科急病センターを開設します。					
実績	①休日・夜間当番医制の運用委託（網走医師会） ・休日 当番医の実施日数 72日（外科系：2医療機関 内科系：7医療機関（休日内科急病センター除く）） ・夜間 当番医の実施日数365日（外科系：2医療機関） ②休日内科急病センターの開設期間：30日間（派遣元：北海道大学等） ③市広報紙、市内フリーペーパー等による事業の周知					
方今 向後 性の	関係各機関との協定に基づき、市内（一次救急）及び斜網地区（二次救急）の搬送体制が確立されていることから、コンビニ受診抑制等の適正な救急医療について普及啓発を行い、救急医療体制の維持に努めるとともに、今後も市内医療機関の負担軽減と休日・夜間の救急医療体制づくりに取り組みます。					

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	1. 保健医療
----	---------------------	------	---------

## 国民健康保険特別会計

目的	国民健康保険法に基づく医療保険として、被保険者への必要な保険給付及び健康の保持増進を図るため、国民健康保険事業を安定的かつ円滑に運営します。
主な取組内容	<p>国民健康保険制度の安定的な運営</p> <p>①保険給付 / 医療費・療養費・出産費・葬祭費等の支払及び申請受付</p> <p>②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付</p> <p>③国保料賦課及び徴収 / 収納率向上対策</p> <p>④保健事業の展開 / 特定健康診査・特定保健指導の実施、人間ドック・脳ドック受診の助成</p>
主な実績	<p>①保険給付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険給付費（療養給付費、療養費、高額療養費等の合算） <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 2,359,127千円 一人当たり 324.5千円</li> <li>令和4年度 2,402,945千円 一人当たり 308.4千円</li> </ul> </li> <li>・出産育児一時金 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 9,420千円 (19件)</li> <li>令和4年度 6,723千円 (16件)</li> </ul> </li> <li>・葬祭費 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 1,920千円 (64件)</li> <li>令和4年度 1,590千円 (53件)</li> </ul> </li> </ul> <p>②資格管理 ※令和6年3月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入率（世帯） 25.0%（全世帯17,570世帯のうち4,396世帯） 令和4年度 26.4%</li> <li>・加入率（被保険者数） 22.0%（総人口32,062名のうち7,069名） 令和4年度 23.2%</li> </ul> <p>③国保料賦課及び徴収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度保険料率（R4年度保険料率との比較） <ul style="list-style-type: none"> <li>医療分：所得割 6.55% (+0.25) 均等割 27.5千円 平等割 24.0千円 限度額 650.0千円</li> <li>支援分：所得割 2.25% (+0.05) 均等割 9.5千円 平等割 7.5千円 限度額 220.0千円 (+20千円)</li> <li>介護分：所得割 1.70% 均等割 12.0千円 平等割 6.0千円 限度額 170.0千円</li> </ul> </li> <li>・現年度収納率 97.28%（令和4年度 97.43% 令和3年度 97.06%）</li> <li>・滞納繰越分収納率 21.31%（令和4年度 26.88% 令和3年度 27.11%）</li> </ul> <p>④保健事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 受診率 目標：40% 速報：26.3% (11月確定)</li> <li>令和4年度 受診率 目標：37% 実績：26.6%</li> <li>令和3年度 受診率 目標：35% 実績：24.0%</li> </ul> </li> <li>・人間ドック、脳ドックの実施 人間ドック133件 脳ドック158件 (令和4年度 人間ドック164件 脳ドック257件)</li> </ul> <p>⑤一般会計繰入金 408,801千円（令和4年度 406,227千円） (事務費、人件費、保険基盤安定制度による保険料軽減分、財政安定化支援事業分、出産育児一時金、保健事業分、福祉医療影響分など)</p>
今後の方向性	<p>将来にわたり市民が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めます。</p> <p>①資格管理、国保料賦課及び徴収、適用の適正化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関係課と連携を図り、適正化に努めます。 (保険料収納及び所得申告：税務課 住民異動及び資格届出：戸籍保険課)</li> </ul> <p>②保健事業の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各種がん検診、人間ドック、脳ドック助成事業を実施します。</li> <li>・特定健康診査及び特定保健指導を積極的に実施し、国保連と共同で効果的な受診勧奨を行います。</li> </ul> <p>③あばしり健康マイレージ事業（一般会計）の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者の各種がん検診、人間・脳ドック、特定健康診査及び特定保健指導の受診について、引き続き一般会計が実施する健康マイレージ事業の対象とします。</li> </ul> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度以降、財政運営の主体となった道と連携を図りながら健全な運営に努めます。</li> </ul>

目標	1 一人ひとりを大切に作るやさしいまち	取組分野	2. 地域福祉
----	---------------------	------	---------

事業名： 高齢者運転免許自主返納促進事業 担当部署： 市民活動推進課 市民活動推進係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	3,306	2,141				2,141	
目的	対象		意 図				
	運転免許を自主返納した満75歳以上の市民		運転に不安を抱える高齢者の交通事故の抑制と、運転免許の自主返納後の交通手段として公共交通機関の利用促進を図ります。				
内取組	対象者に「公共交通利用券」（1万円分）と「どこバスの定期券」（3カ月分）を交付します（一人1回限りの交付） ※自主返納日から1年以内に申請された方が対象です。						
実績	自主返納申請者数…119名（70歳代…41名、80歳代…70名、90歳代以上…8名）						
方今向後性の	引き続き、高齢者の運転免許の自主返納を促進します。						

事業名： 生活困窮者自立促進支援事業（3事業） 担当部署： 社会福祉課 庶務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	19,331	18,594	9,164				9,430
目的	対象		意 図				
	生活や経済などに困窮している市民		包括的かつ継続的な相談支援を実施し、生活困窮者の自立を図ります。				
内取組	網走市生活サポートセンターに相談支援員を配置し、生活困窮者の状態に応じた、関係機関への引継ぎや支援プランを作成し、継続的に支援します。また、家計に課題を抱える生活困窮者支援や一般就労に向けた基礎能力の形成支援を行います。						
実績	①自立相談支援事業：新規受付件数 39件（プラン作成数 0件） ②家計改善支援事業：新規受付件数 2件（プラン作成数 6件） ③就労準備支援事業：新規受付件数 3件（プラン作成数 5件） （委託先：社会福祉法人 網走市社会福祉協議会）						
方今向後性の	引き続き、地域や町内会・民生委員等と連携し、地域への出張サービスなどの取り組みを積極的に行い、包括的かつ継続的に自立を支援します。						

事業名： 高齢者等緊急通報システム設置事業 担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	3,870	3,451				200	3,251
目的	対象		意 図				
	緊急時に支援を必要とするひとり暮らし高齢者等の世帯		緊急時における迅速かつ正確な救援体制を整備することにより、ひとり暮らし高齢者等の生活不安の解消及び生命の安全を確保します。				
内取組	緊急時にボタンを押すだけで消防署に通報できる機器を貸与します。						
実績	・新規利用世帯： 48世帯 ・利用終了世帯： 47世帯 ・利用世帯総数： 332世帯						
方今向後性の	引き続き、ひとり暮らし等高齢者の生活不安の解消を図ります。						

事業名： 高齢者等見守り支援事業

担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	1,820	516					516
目的	対 象		意 図				
	ひとり暮らしの高齢者、重度身体障がい者世帯		ひとり暮らしの高齢者等の不安の解消、離れて暮らす親族等の見守り負担の軽減を図ります。				
内取 容組	高齢者等の居宅に通信機能を持つ電球を設置し、特定の計測時間において点灯又は消灯の動きがない場合に、事前に設定された通知先に電子メールで通知します。また、通知先より訪問依頼があった場合、居宅を訪問して安否を確認します。						
実績	利用世帯数：90世帯						
方今 向後 性の	引き続き事業周知を行い、利用世帯の増加を図ります。						

事業名： 高齢者除雪・融雪サービス事業

担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	5,698	5,623				940	4,683
目的	対 象		意 図				
	高齢者、身体障がい者または介護保険認定者を含む除雪能力の確保が困難な世帯		通路を確保することで閉じこもりを防止するとともに、緊急時の避難通路を確保することで、在宅生活での不安解消を図ります。				
内取 容組	対象となる世帯の玄関から道路までの除雪等を行います。 作業範囲 通路のみ・・・シルバー人材センター委託、町内会委託 通路及び車庫前等・・・民間業者委託						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用世帯数：298世帯（シルバー人材センター委託：86世帯、町内会委託：87世帯、民間業者委託：125世帯）</li> <li>・延べ利用回数：3,856回</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、高齢者等の冬期生活の不安解消を図ります。						

事業名： 官民連携公有地等利活用推進事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	2,475	2,119	312			1,807	
目的	対 象		意 図				
	市民及び出所者等		誰もが自立した生活を送れるよう、共生型地域社会の実現を目指します。				
内取 容組	網走市リエントリー委員会に所属する事業者と連携し、共生型地域社会の実現に向けた取り組みを支援します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①網走市リエントリー委員会を開催</li> <li>②ブドウの定植・管理、かぼちゃの栽培・収穫を実施（収穫には受刑者等も参加）</li> <li>③刑務所の受刑者に対して、出前授業を1回実施</li> <li>④広報リーフレットの作成</li> <li>⑤木桶の製作</li> <li>⑥事業者がワイン、日本酒を商品化</li> </ul>						
方今 向後 性の	共生型地域社会実現のため、農福連携事業を推進します。						

事業名： 介護フェア開催事業

担当部署： 介護福祉課 介護保険係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	1,700	1,483		1,483			
目的	対象		意図				
	中・高校生及び潜在的有資格者		市民に介護業界に興味を持ってもらう機会を提供し、介護人材の確保を図ります。				
内取組	中・高校生に職業としての介護業界を身近に感じてもらうほか、潜在的有資格者や高齢者等に現在の介護業界に触れてもらう機会として、介護フェアを開催します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：令和5年10月9日</li> <li>内容：中・高校生向け講演会、介護サービス事業所個別相談会、介護なんでも相談等</li> <li>参加者：200名</li> </ul>						
方今向後性の	中・高校生など学生に介護業界への興味を持ってもらうため、学校への出前講座や就職説明会への参加など、関係機関と連携した取り組みを行います。						

事業名： 高齢者生活総合支援事業

担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	19,080	17,287					17,287
目的	対象		意図				
	70歳以上で前年度市民税が非課税かつ同一世帯に所得割課税者が属していない方		高齢者の積極的な社会参加、学習機会の確保、健康増進、生活支援を図ります。				
内取組	対象の高齢者へ、バスやタクシーの運賃、公共施設の利用料、日帰り入浴料及び除雪サービス利用料等に使用できる年間6,000円分（100円券×60枚）の助成券を交付します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当者数：3,986名</li> <li>交付者数：3,498名（交付率 87.76%）</li> <li>使用枚数：172,870枚（使用率 82.37%）</li> </ul>						
方今向後性の	引き続き、高齢者の積極的な社会参加、学習機会の確保、健康増進及び生活支援に取り組めます。						

事業名： 重度心身障がい者医療助成費

担当部署： 戸籍保険課 医療保険係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	47,164	43,199		17,814		6,303	19,082
目的	対象		意図				
	重度心身障がい者		重度心身障がい者の医療費の負担軽減を図ります。				
内取組	<p>身体障害者手帳1・2級、3級（内部疾患）もしくは精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けた方、または重度の知的障がい者と判定・診断された方を対象に、医療機関受診時にかかる医療費の自己負担分を助成します。</p> <p>・課税世帯：一部助成 ・非課税世帯及び中学生以下：全額助成</p>						
実績	<p>助成対象者数：534名（課税155名、非課税378名、3歳未満1名）</p> <p>・助成件数及び金額：13,742件、43,199千円</p> <p>入院：720件、12,870千円 入院外：6,843件、14,120千円 歯科入院：1件、8千円 歯科入院外：1,103件、2,700千円</p> <p>調剤：4,873件、11,838千円 指定訪問看護：64件、441千円 その他：138件、552千円</p> <p>高額医療費：（24件）670千円、 初診時一部負担金：（863件、1,487千円）</p>						
方今向後性の	引き続き、受診機会の多い対象者の医療費負担軽減を図るため、北海道の医療助成事業を活用し実施します。 令和6年8月診療分より、全額助成の対象を高校生以下に拡大します。						

事業名： 住宅介護等給付事業

担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	72,176	64,035	31,934	15,485		515	16,101
目的	対 象		意 図				
	支援を必要とする障がい者 (身体・知的・精神)		障がい者の自立及び社会参加の促進を図ります。				
内取 容組	日常生活において介護が必要な障がい者宅にホームヘルパーを派遣し、家事や入浴、排せつ、食事などの介護サービスを行います。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実利用者数：156名</li> <li>・延べ利用時間：14,515時間</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、障がい者の自立及び社会参加の促進に必要な支援に取り組みます。						

事業名： 障がい者基幹相談支援センター運営事業 担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	7,548	7,548	2,279	1,435			3,834
目的	対 象		意 図				
	障がい者（児）及びその家族		障がいのある方が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように支援します。				
内取 容組	斜網地域1市4町（網走市、大空町、斜里町、清里町、小清水町）で、障がい者基幹相談支援センターを設置・運営します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年8月2日開設</li> <li>・運営業務を社会福祉法人網走桂福社会へ委託（一部業務を社会福祉法人斜里福社会へ再委託）</li> <li>・事務所は網走市に設置（サテライト事務所を斜里町に設置）</li> <li>・延相談件数：1,262件</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として運営します。						

事業名： 軽度・中等度難聴者補聴器購入助成事業 担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	1,142	1,142					1,142
目的	対 象		意 図				
	身体障害者手帳の対象とならない、軽度・中等度の難聴者		コミュニケーション手段を確保し、積極的に社会参加ができるよう支援します。				
内取 容組	補聴器購入に要する費用の一部を助成します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数：34件</li> <li>・1件あたりの平均助成額：約33,575円</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、必要な支援に取り組みます。						

事業名： 就労継続支援給付事業

担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	188,402	178,770	89,069	43,190		905	45,606
目的	対 象		意 図				
	障がい者（身体・知的・精神）		障がい者が継続して就労できる環境をつくれます。				
内取組	働く場の提供と、就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行います。						
実績	①就労継続支援A型 実利用者数：34名 利用日数：6,521日 ②就労継続支援B型 実利用者数：99名 利用日数：17,081日						
方今 向後 性の	引き続き、必要な支援に取り組みます。						

事業名： 障がい児福祉サービス利用者負担金軽減事業 担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	4,838	4,666				4,666	
目的	対 象		意 図				
	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく障がい者（児）福祉サービスを利用する児童の保護者		障がいのある児童の療育と福祉の向上を図ります。				
内取組	サービス利用者の負担分を全額助成します。						
実績	①短期入所33,440円（5名） ②行動援護55,200円（1名） ③児童発達支援57,260円（5名） ④放課後等デイサービス3,010,356円（94名） ⑤移動支援1,265,275円（70名） ⑥日中一時支援89,360円（11名） ⑦訪問入浴45,176円（1名） ⑧補装具費19,660円（5名） ⑨日常生活用具44,770円（3名） ⑩紙おむつ40,752円（3名） ⑪育成医療5,000円（1名）						
方今 向後 性の	引き続き、障がいのある児童の療育と福祉の向上を図ります。						

事業名： 子どもの居場所づくり支援事業 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	425	275				275	
目的	対 象		意 図				
	小中学生		子どもたちが地域の人とのふれあいによって、安心して過ごすことができる居場所づくりを進めることにより、子どもたちの育ちを支援します。				
内取組	小中学生（概ね10名以上）を対象に、週1回以上学習支援や遊び体験等を実施する団体に対し、活動経費の一部を補助します。						
実績	・補助件数：2件 ①西コミセン地区子どもの居場所づくり事業：実施回数 227回（利用者数：小学生 552名、中学生 335名） ②西網走地区子どもの居場所づくり事業：実施回数 18回（利用者数：小学生 13名、中学生 54名） ・補助金額：240千円						
方今 向後 性の	今後も地域と連携しながら、児童生徒が安全に過ごすことができる居場所づくりに取り組みます。						

事業名： 子育てサポート事業

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	3,200	3,200	833	833			1,534
目的	対 象		意 図				
	子育て支援を必要とする市民 子育て支援をしたい市民		会員相互による子育て支援を行うことで、地域全体で子育てしやすい環境づくりを図ります。				
内取 容組	依頼会員及び協力会員による、保育園・幼稚園・学校への送迎や託児等、育児のために必要な支援を行います。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録会員数217名（依頼会員 111名、協力会員 91名、両方会員 15名）</li> <li>延べ利用数：471回（預かり 133回、送迎 338回）</li> <li>制度周知：各種講座での案内チラシ配布、説明会の開催、市公式サイト、子育て安心ガイドブック等</li> </ul>						
方今 向後 性の	子ども・子育て支援新制度に基づいた地域子ども子育て支援事業として継続するとともに、制度の周知に努めます。						

事業名： 地域子育て応援事業

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	7,050	3,309				3,309	
目的	対 象		意 図				
	令和5年4月1日以降に出生し、網走市に住民登録をした新生児		子育て世帯の家計負担を軽減するため、0歳から1歳までの乳児にかかるベビー用品（ミルク・おむつ等）の購入を支援します。				
内取 容組	ベビー用品の購入に利用できる「あばしり赤ちゃん応援券」を、新生児1人あたり5万円分支給します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>支給人数：99人</li> <li>利用枚数：3,012枚</li> <li>利用金額：3,012千円（取扱6店舗合計金額）</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、子育て世帯の家計負担軽減を図ります。						

事業名： 子育て施設給食費無償化事業

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	60,237	50,690				50,690	
目的	対 象		意 図				
	園児の保護者		給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。				
内取 容組	認定子ども園・幼稚園に通園する園児の給食費を無償化します。						
実績	補助金額 ・桂幼稚園 3,090,810円、認定子ども園藤幼稚園 9,093,590円、認定子ども園しおみ 11,892,970円、認定子ども園つくし 7,741,080円、認定子ども園若葉幼稚園 7,766,230円、認定子ども園網走幼稚園 4,156,110円、認定子ども園いせの里保育園 6,481,620円、広域保育園等4園 467,620円						
方今 向後 性の	引き続き、認定子ども園・幼稚園に通園する園児の給食費を無償化します。						

事業名： 子育て世代包括支援センター運営事業 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	5,174	4,054	3,324	663			67
目的	対 象		意 図				
	妊産婦及び就学前までの乳幼児の保護者		子育て家庭に対する育児不安の解消を図ります。				
内取 容組	妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に応じる施設を運営し、専任の保健師・保育士が一人ひとりの状況に応じて、必要な情報の共有・総合的な相談支援を行います。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所、電話、訪問相談件数：妊産婦 218件 乳幼児 750件</li> <li>子育て支援センター移動相談件数： 98件</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、一人一人に寄り添った相談支援に努めます。						

事業名： 産後ケア事業 担当部署： 健康推進課 健康推進係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	1,664	1,432	832				600
目的	対 象		意 図				
	産後1年未満の産婦及びその乳児		母親の身体的回復と心理的安定を図ります。				
内取 容組	助産師などによる母親の身体的回復の支援、授乳の指導及びケア、母親の話を傾聴するなどの心理的支援、新生児・乳児の状況に応じた具体的な育児指導、家族等身近な支援者との関係調整、社会資源の紹介などを行います。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者：実人数125名、延べ人数313名（内訳：1回104名、2回67名、3回46名、4回36名、5回28名、6回20名、7回12名）</li> <li>利用型：訪問型143名、来所型170名、宿泊型4名</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、産後の心身ケア、育児相談などに取り組みます。						

事業名： こども医療助成費 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	114,291	100,698		16,407		84,291	
目的	対 象		意 図				
	中学校卒業前の子の保護者		子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の向上を図ります。				
内取 容組	0歳から中学生までの子どもの医療費(通院・入院等)を無償化します。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>入 院： 443件 (未就学児 365件、小中学生 78件)</li> <li>入院外：24,932件 (未就学児 12,223件、小中学生 12,709件)</li> <li>歯 科：3,520件 (未就学児 1,203件、小中学生 2,317件)</li> <li>調 剤：21,672件 (未就学児 11,933件、小中学生 9,739件)</li> <li>その他： 443件 (未就学児 8件、小中学生 435件) *整骨院、補装具等</li> </ul>						
方今 向後 性の	引き続き、子どもの医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 ※この事業は、北海道の医療助成事業(道と市で費用負担)に、市独自の助成を加えています。						

事業名： 施設型給付費(幼稚園・認定こども園)(2事業) 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	773,834	773,833	340,191	200,341			233,301
目的	対象		意 図				
	園児の保護者		健康で安定した環境の中で、園児の健全な発達と幼児教育の充実を図ります。				
内取 容組	国の公定価格にもとづき、保育等に係る経費の一部を園児の保護者に支給します。						
実績	園児数(令和5年4月1日現在) ・私立幼稚園(1園)：32名(桂幼稚園) ・認定こども園(6園)：633名(認定こども園若葉幼稚園、認定こども園網走幼稚園、認定こども園いせの里保育園、認定こども園藤幼稚園、認定こども園しおみ、認定こども園つくし)						
方今 向後 性の	引き続き、国の制度に基づき、保育等に係る経費の一部を支給します。						

事業名： 法人立保育園・幼稚園施設賃向上事業補助金(2事業) 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	33,358	25,634				25,634	
目的	対象		意 図				
	支援が必要な児童		児童の健全な発達と幼児教育の充実を図ります。				
内取 容組	支援が必要な児童への対応に必要な経費の一部を幼稚園・保育園・認定こども園に対し補助します。						
実績	補助件数：7件 ・法人立幼稚園：1園(桂幼稚園) ・法人立認定こども園：6園(認定こども園藤幼稚園、認定こども園しおみ、認定こども園つくし、認定こども園若葉幼稚園、認定こども園網走幼稚園、認定こども園いせの里保育園) ・補助金額：25,634千円、補助内容：支援が必要な児童への対応に必要な人件費						
方今 向後 性の	引き続き、支援が必要な児童が安心して過ごせる環境づくりに努めます。						

事業名： 保育所・認定こども園業務支援システム導入事業(2事業) 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R5	2,667	2,326	1,686			640	
目的	対象		意 図				
	認定こども園事業者		保育所・認定こども園において、ICT化を推進し、保育士等の業務負担軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備します。				
内取 容組	保育士等が働きやすい環境を整備するため、パソコン等を整備し、業務支援システムを導入します。						
実績	業務支援システム導入実績 ・市立保育所(1園)：ひまわり保育園 ・認定こども園(2園)：認定こども園網走幼稚園、認定こども園網走若葉幼稚園						
方今 向後 性の	令和5年度で完了しました。						

目標	1 一人ひとりを大切に作るやさしいまち	取組分野	2. 地域福祉
----	---------------------	------	---------

## 介護保険特別会計

目的	高齢者の生活を住み慣れた地域で支え、認知症などの方も、いつまでもその方らしく尊厳が守られ、生きがいを持って安心して暮らすことのできる環境をつくります。																																																																																													
主な取組内容	<p>①介護保険事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅（介護予防）、地域密着型、施設に係るサービス・市町村特別給付・低所得者対策</li> </ul> <p>②介護予防・日常生活支援総合事業</p> <p>＜介護予防・生活支援サービス事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買物支援サービス事業（買物代行サービス）・いきいき教室事業（郊外地区における介護予防教室）</li> <li>・ 買物リハビリ事業（商業施設への送迎、付添）・短期集中予防サービス事業【訪問型・通所型】</li> <li>・ 高齢者等さわやか収集事業（ごみの搬出、声掛けによる安否確認）</li> </ul> <p>＜一般介護予防事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者ふれあい支援事業（地域住民グループ育成、高齢者ふれあいの家開設）</li> <li>・ 介護予防教室等事業（高齢者筋力アップ事業、各種介護予防教室）</li> <li>・ 生活支援体制整備事業（協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置）</li> <li>・ 地域リハビリテーション活動支援事業（地域の通いの場へのリハビリ専門職派遣）</li> <li>・ 介護支援ボランティアポイント事業（活動実績に応じたポイント付与、ボランティア応援券交付）</li> </ul> <p>③包括的支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センター運営事業（高齢者に対する総合相談機関の設置）</li> <li>・ 在宅医療・介護連携推進事業（協議体の設置及び各種事業の実施）</li> <li>・ 生活支援体制整備事業（協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置）</li> <li>・ 認知症初期集中支援推進事業（認知症初期集中支援チームの配置）</li> <li>・ 認知症地域支援・ケア向上事業（認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェの開催）</li> </ul> <p>④任意事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年後見制度利用支援事業（申立費用及び後見人等への報酬に対する助成）</li> </ul>																																																																																													
主な実績	<p>①介護保険事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護サービス給付費：1,050,589千円（給付件数 27,315件）</li> <li>・ 地域密着型サービス給付費：974,653千円（給付件数 5,214件）</li> <li>・ 施設介護サービス給付費：740,371千円（給付件数 2,710件）</li> </ul> <p>※一般会計からの利用者負担軽減対策額：4,533千円（令和4年度 7,689千円 令和3年度 17,697千円）</p> <p>②介護予防・日常生活支援総合事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">令和5年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">介護予防・生活支援サービス事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">買物支援サービス事業</td> <td>利用人数</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数</td> <td style="text-align: center;">124人</td> <td style="text-align: center;">91人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">いきいき教室事業</td> <td>地区/登録者</td> <td style="text-align: center;">5地区/19人</td> <td style="text-align: center;">5地区/16人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数</td> <td style="text-align: center;">588人</td> <td style="text-align: center;">539人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">買物リハビリ事業</td> <td>利用人数</td> <td style="text-align: center;">18人</td> <td style="text-align: center;">18人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用人数</td> <td style="text-align: center;">454人</td> <td style="text-align: center;">427人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">短期集中予防サービス事業（訪問）</td> <td>利用人数</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用回数</td> <td style="text-align: center;">36回</td> <td style="text-align: center;">22回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">短期集中予防サービス事業（通所）</td> <td>利用人数</td> <td style="text-align: center;">12人</td> <td style="text-align: center;">5人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用回数</td> <td style="text-align: center;">260回</td> <td style="text-align: center;">59回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者等さわやか収集事業</td> <td>利用世帯</td> <td style="text-align: center;">112世帯</td> <td style="text-align: center;">129世帯</td> </tr> <tr> <td>延べ利用回数</td> <td style="text-align: center;">7,530回</td> <td style="text-align: center;">8,366回</td> </tr> <tr> <td colspan="4">一般介護予防事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者ふれあい支援事業</td> <td>団体/登録者</td> <td style="text-align: center;">14団体/339人</td> <td style="text-align: center;">14団体/372人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者</td> <td style="text-align: center;">10,027人</td> <td style="text-align: center;">11,388人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">介護予防教室等事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者筋力アップ事業 （らくらく健康トレーニング）</td> <td>箇所/登録者</td> <td style="text-align: center;">6箇所/322人</td> <td style="text-align: center;">6箇所/324人</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者</td> <td style="text-align: center;">8,540人</td> <td style="text-align: center;">9,030人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防事業</td> <td>実施団体</td> <td style="text-align: center;">8団体</td> <td style="text-align: center;">8団体</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td style="text-align: center;">192人</td> <td style="text-align: center;">162人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域リハビリテーション活動支援事業</td> <td>実施箇所</td> <td style="text-align: center;">14箇所</td> <td style="text-align: center;">14箇所</td> </tr> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td style="text-align: center;">74回</td> <td style="text-align: center;">74回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護支援ボランティアポイント事業</td> <td>登録者</td> <td style="text-align: center;">515人</td> <td style="text-align: center;">488人</td> </tr> <tr> <td>応援券交付人数</td> <td style="text-align: center;">281人</td> <td style="text-align: center;">290人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③包括的支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センター運営事業：2箇所</li> <li>・ 在宅医療・介護連携推進事業：多職種連携情報共有システム運用</li> <li>・ 生活支援体制整備事業：第2層協議体に係る各地区協議 17地区</li> <li>・ 認知症初期集中支援推進事業：認知症初期集中支援チームの設置 対応件数 3件</li> <li>・ 認知症地域支援・ケア向上事業：認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェの開催12回</li> </ul> <p>④任意事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年後見制度利用支援事業：報酬等助成件数 8件</li> </ul>	事業名	項目	令和5年度	令和4年度	介護予防・生活支援サービス事業				買物支援サービス事業	利用人数	3人	2人	延べ利用人数	124人	91人	いきいき教室事業	地区/登録者	5地区/19人	5地区/16人	延べ利用人数	588人	539人	買物リハビリ事業	利用人数	18人	18人	延べ利用人数	454人	427人	短期集中予防サービス事業（訪問）	利用人数	3人	2人	延べ利用回数	36回	22回	短期集中予防サービス事業（通所）	利用人数	12人	5人	延べ利用回数	260回	59回	高齢者等さわやか収集事業	利用世帯	112世帯	129世帯	延べ利用回数	7,530回	8,366回	一般介護予防事業				高齢者ふれあい支援事業	団体/登録者	14団体/339人	14団体/372人	延べ利用者	10,027人	11,388人	介護予防教室等事業				高齢者筋力アップ事業 （らくらく健康トレーニング）	箇所/登録者	6箇所/322人	6箇所/324人	延べ参加者	8,540人	9,030人	介護予防事業	実施団体	8団体	8団体	延べ参加人数	192人	162人	地域リハビリテーション活動支援事業	実施箇所	14箇所	14箇所	延べ実施回数	74回	74回	介護支援ボランティアポイント事業	登録者	515人	488人	応援券交付人数	281人	290人
事業名	項目	令和5年度	令和4年度																																																																																											
介護予防・生活支援サービス事業																																																																																														
買物支援サービス事業	利用人数	3人	2人																																																																																											
	延べ利用人数	124人	91人																																																																																											
いきいき教室事業	地区/登録者	5地区/19人	5地区/16人																																																																																											
	延べ利用人数	588人	539人																																																																																											
買物リハビリ事業	利用人数	18人	18人																																																																																											
	延べ利用人数	454人	427人																																																																																											
短期集中予防サービス事業（訪問）	利用人数	3人	2人																																																																																											
	延べ利用回数	36回	22回																																																																																											
短期集中予防サービス事業（通所）	利用人数	12人	5人																																																																																											
	延べ利用回数	260回	59回																																																																																											
高齢者等さわやか収集事業	利用世帯	112世帯	129世帯																																																																																											
	延べ利用回数	7,530回	8,366回																																																																																											
一般介護予防事業																																																																																														
高齢者ふれあい支援事業	団体/登録者	14団体/339人	14団体/372人																																																																																											
	延べ利用者	10,027人	11,388人																																																																																											
介護予防教室等事業																																																																																														
高齢者筋力アップ事業 （らくらく健康トレーニング）	箇所/登録者	6箇所/322人	6箇所/324人																																																																																											
	延べ参加者	8,540人	9,030人																																																																																											
介護予防事業	実施団体	8団体	8団体																																																																																											
	延べ参加人数	192人	162人																																																																																											
地域リハビリテーション活動支援事業	実施箇所	14箇所	14箇所																																																																																											
	延べ実施回数	74回	74回																																																																																											
介護支援ボランティアポイント事業	登録者	515人	488人																																																																																											
	応援券交付人数	281人	290人																																																																																											
方今 向後 性の	第9期網走市高齢者保健福祉計画及び網走市介護保険事業計画（令和6年度～8年度）に基づき、関係機関等と連携を図りながら各種事業を推進し、高齢者の自立支援や要介護状態の重度化防止に取り組むとともに、安定的な介護保険制度の継続を図ります。																																																																																													

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	3. 生活福祉
----	---------------------	------	---------

## 国民健康保険特別会計

目的	国民健康保険法に基づく医療保険として、被保険者への必要な保険給付及び健康の保持増進を図るため、国民健康保険事業を安定的かつ円滑に運営します。
主な取組内容	<p>国民健康保険制度の安定的な運営</p> <p>①保険給付 / 医療費・療養費・出産費・葬祭費等の支払及び申請受付</p> <p>②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付</p> <p>③国保料賦課及び徴収 / 収納率向上対策</p> <p>④保健事業の展開 / 特定健康診査・特定保健指導の実施、人間ドック・脳ドック受診の助成</p>
主な実績	<p>①保険給付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険給付費（療養給付費、療養費、高額療養費等の合算） <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 2,359,127千円 一人当たり 324.5千円</li> <li>令和4年度 2,402,945千円 一人当たり 308.4千円</li> </ul> </li> <li>・出産育児一時金 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 9,420千円 (19件)</li> <li>令和4年度 6,723千円 (16件)</li> </ul> </li> <li>・葬祭費 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 1,920千円 (64件)</li> <li>令和4年度 1,590千円 (53件)</li> </ul> </li> </ul> <p>②資格管理 ※令和6年3月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入率（世帯） 25.0%（全世帯17,570世帯のうち4,396世帯） 令和4年度 26.4%</li> <li>・加入率（被保険者数） 22.0%（総人口32,062名のうち7,069名） 令和4年度 23.2%</li> </ul> <p>③国保料賦課及び徴収</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度保険料率（R4年度保険料率との比較） <ul style="list-style-type: none"> <li>医療分：所得割 6.55% (+0.25) 均等割 27.5千円 平等割 24.0千円 限度額 650.0千円</li> <li>支援分：所得割 2.25% (+0.05) 均等割 9.5千円 平等割 7.5千円 限度額 220.0千円 (+20千円)</li> <li>介護分：所得割 1.70% 均等割 12.0千円 平等割 6.0千円 限度額 170.0千円</li> </ul> </li> <li>・現年度収納率 97.28%（令和4年度 97.43% 令和3年度 97.06%）</li> <li>・滞納繰越分収納率 21.31%（令和4年度 26.88% 令和3年度 27.11%）</li> </ul> <p>④保健事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 受診率 目標：40% 速報：26.3% (11月確定)</li> <li>令和4年度 受診率 目標：37% 実績：26.6%</li> <li>令和3年度 受診率 目標：35% 実績：24.0%</li> </ul> </li> <li>・人間ドック、脳ドックの実施 人間ドック133件 脳ドック158件 (令和4年度 人間ドック164件 脳ドック257件)</li> </ul> <p>⑤一般会計繰入金 408,801千円（令和4年度 406,227千円） (事務費、人件費、保険基盤安定制度による保険料軽減分、財政安定化支援事業分、出産育児一時金、保健事業分、福祉医療影響分など)</p>
今後の方向性	<p>将来にわたり市民が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めます。</p> <p>①資格管理、国保料賦課及び徴収、適用の適正化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も関係課と連携を図り、適正化に努めます。 (保険料収納及び所得申告：税務課 住民異動及び資格届出：戸籍保険課)</li> </ul> <p>②保健事業の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各種がん検診、人間ドック、脳ドック助成事業を実施します。</li> <li>・特定健康診査及び特定保健指導を積極的に実施し、国保連と共同で効果的な受診勧奨を行います。</li> </ul> <p>③あばしり健康マイレージ事業（一般会計）の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者の各種がん検診、人間・脳ドック、特定健康診査及び特定保健指導の受診について、引き続き一般会計が実施する健康マイレージ事業の対象とします。</li> </ul> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度以降、財政運営の主体となった道と連携を図りながら健全な運営に努めます。</li> </ul>

目標	1 一人ひとりを大切にしやすいまち	取組分野	3. 生活福祉
----	-------------------	------	---------

## 後期高齢者医療特別会計

目的	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療保険として、被保険者が安心して医療を受けられるよう、後期高齢者医療制度を安定的かつ円滑に運営します。
主な取組内容	<p>北海道後期高齢者医療広域連合（道内全市町村で構成）が運営する後期高齢者医療制度に基づき、75歳以上の方及び65歳以上で一定の障がいのある方を被保険者として、次の事務を行います。</p> <p>①保険給付 / 医療費・療養費・葬祭費等の申請受付          ②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付、限度額適用・標準負担額減額認定証の交付          ③後期高齢者医療保険料の徴収 / 収納率向上対策          ④保健事業 / 後期高齢者健康診査の実施、脳ドック助成の実施          高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施</p>
主な実績	<p>①被保険者数 ※令和6年3月末時点          5,981名（18.7%）（総人口32,062名のうち5,981名）      令和4年度 5,833名（17.8%）</p> <p>②後期高齢者医療保険料収入          ・現年度      447,131千円    収納率 99.79%（令和4年度 99.62%    令和3年度99.84%）          ・滞納繰越分    1,656千円    収納率 35.60%（令和4年度 18.79%    令和3年度16.48%）</p> <p>③広域連合保険料等納付金 596,836千円（令和4年度 570,173千円）          （事務費負担金、保険料負担金、保険基盤安定負担金）</p> <p>④一般会計による負担          ・後期高齢者医療療養給付費負担金 376,724千円（令和4年度 350,864千円）          ・一般会計繰入金                    163,280千円（令和4年度 150,898千円）          （人件費、事務費、保険基盤安定制度による保険料軽減分など）</p> <p>⑤保健事業          ・後期高齢者健康診査 受診率 14.44%（受診者：780名）（令和4年度 12.83%）          ・脳ドック助成      50件（令和4年度 49件）          ・口腔歯科健診      11名（令和4年度 8名）</p> <p>⑥高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業          ・ポピュレーションアプローチ＝高齢者ふれあいの家でのフレイル予防等の健康教室・健康相談          実績：市内4箇所、年2回開催・のべ参加人数 121名          ・ハイリスクアプローチ＝糖尿病性腎症重症化予防プログラム          実績：プログラム参加者 2名</p> <p style="text-align: center;">〔 後期高齢者医療制度の財源は、被保険者の保険料（1割）及び各保険者からの支援金（4割）と公費負担5割（国2/3・道1/6・市1/6）からなっています。 〕</p>
今後の方向性	<p>今後は、年齢に関係なく、負担能力に応じて制度を公平に支えることを目的とした制度改正がより一層進むと思われます。</p> <p>将来にわたり、市民（後期高齢者）が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めるとともに、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合と連携を図ります。</p>